

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 和歌山県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
海南市	海南医療センター	3
橋本市	橋本市民病院	4
有田市	市立病院	5
新宮市	新宮市立医療センター	6
高野町	高野山病院	7
すさみ町	国保すさみ病院	8
那智勝浦町	温泉病院	9
串本町	くしもと町立病院	10
国民健康保険野上厚生病院組合	国保野上厚生総合病院	11
公立那賀病院経営事務組合	公立那賀病院	12
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合	ひだか病院	13
公立紀南病院組合	紀南病院	14
公立紀南病院組合	紀南こころの医療センター	15

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			和歌山県
市町村・組合名			
病院名	こころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,637 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	2	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	43.4	48.0	50.8
感染症	-	-	-	-
計	300	43.4	48.0	50.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	922,584	
決算規模(千円)	644,047,629	
標準財政規模(千円)	310,205,791	
財政力指数	0.32913	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	200.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,152,498			
1 経常収益	2,152,498			
(1) 医業収益	1,234,963			
(うち修正医業収益)	1,141,092			
入院収益	969,126			
外来収益	166,937			
診療収入計	1,136,063			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	98,900			
(うち他会計負担金)	93,871			
(2) 医業外収益	917,535			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	716,495			
(うち長期前受金戻入)	27,450			
(うち資本費繰入収益)	167,904			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,029,031			
2 経常費用	2,094,414			
(1) 医業費用	2,053,210			
職員給与費	1,398,920	113.3	60.8	108.5
材料費	96,309	7.8	27.1	9.4
(うち薬品費)	68,075	5.5	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,042	2.0	11.8	1.4
減価償却費	167,904	13.6	8.6	12.6
経費	380,203	30.8	22.0	34.8
(うち委託料)	249,819	20.2	11.8	15.4
研究研修費	3,778			
資産減耗費	6,096			
(2) 医業外費用	41,204			
(うち支払利息)	38,974	3.2	0.9	2.1
(3) 特別損失	934,617			
経常損失	58,084			
純損失	-876,533			
累積欠損金	923,330			
経常収支比率	102.8		93.0	95.5
医業収支比率	60.1		83.9	60.3
修正医業収支比率	55.6		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	37.6		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	65.6		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	37.6		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	64.1		81.6	61.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,786,784
1 固定資産	3,205,742
(1) 有形固定資産	3,204,089
(2) 無形固定資産	1,653
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	581,042
(1) 現金及び預金	371,265
(2) 未収金及び未収収益	199,238
(3) 貸倒引当金()	10,645
(4) 貯蔵品	21,129
3 繰延資産	-
負債合計	4,643,401
1 固定負債	2,460,077
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,449,681
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	10,396
2 流動負債	799,608
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	370,057
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	88,583
(6) リース債務	2,918
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	328,807
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,383,716
(1) 長期前受金	1,969,399
(2) 長期前受金収益化累計額()	585,683
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-856,617
1 本金	64,213
2 剰余金	-920,830
(1) 資本剰余金	2,500
(2) 利益剰余金	-923,330
負債・資本合計	3,786,784
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	856,617
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	790,659	810,366
資本勘定繰入	232,533	340,366
計	1,023,192	1,150,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	海南市				
病院名	海南医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,377 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	150	72.4	72.4	69.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	72.4	72.4	69.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	12.7	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	48,369	
決算規模(千円)	26,564,982	
標準財政規模(千円)	14,374,584	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	99.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	66.8

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	3,975,351				
1 経常収益	3,975,351				
(1) 医業収益	3,628,552				
(うち修正医業収益)	3,438,797				
入院収益	2,278,121				
外来収益	988,807				
診療収入計	3,266,928				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	361,624				
(うち他会計負担金)	189,755				
(2) 医業外収益	346,799				
(うち国・都道府県補助金)	1,170				
(うち他会計補助・負担金)	255,121				
(うち長期前受金戻入)	57,275				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	4,205,088				
2 経常費用	4,205,088				
(1) 医業費用	3,998,699				
職員給与費	2,295,287	63.3	60.8	69.3	
材料費	809,988	22.3	27.1	18.4	
(うち薬品費)	476,747	13.1	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	333,241	9.2	11.8	9.1	
減価償却費	278,433	7.7	8.6	10.8	
経費	589,799	16.3	22.0	29.9	
(うち委託料)	253,774	7.0	11.8	13.7	
研究研修費	21,000				
資産減耗費	4,192				
(2) 医業外費用	206,389				
(うち支払利息)	26,569	0.7	0.9	1.0	
(3) 特別損失	-				
経常損失	-229,737				
純損失	-229,737				
累積欠損金	3,569,608				
経常収支比率	94.5		93.0	91.6	
医業収支比率	90.7		83.9	77.4	
修正医業収支比率	86.0		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	84.0		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,849,357
1 固定資産	3,072,122
(1) 有形固定資産	2,977,555
(2) 無形固定資産	368
(3) 投資その他の資産	94,199
2 流動資産	1,777,235
(1) 現金及び預金	1,106,543
(2) 未収金及び未収収益	639,643
(3) 貸倒引当金()	2,922
(4) 貯蔵品	33,541
3 繰延資産	-
負債合計	3,483,787
1 固定負債	2,233,794
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,590,583
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	150,004
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	491,945
(6) リース債務	1,262
2 流動負債	512,643
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	169,476
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	16,666
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	134,774
(6) リース債務	409
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	179,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	737,350
(1) 長期前受金	1,325,602
(2) 長期前受金収益化累計額()	588,252
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,365,570
1 資本金	4,916,352
2 剰余金	-3,550,782
(1) 資本剰余金	18,826
(2) 利益剰余金	-3,569,608
負債・資本合計	4,849,357
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	444,876	444,876
資本勘定繰入	126,170	126,170
計	571,046	571,046

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	98.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	橋本市				
病院名	橋本市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,410 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨がへ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	300	70.5	68.6	73.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	70.5	68.6	73.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	13.6	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	60,818	
決算規模(千円)	32,237,672	
標準財政規模(千円)	16,765,164	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	100.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	28.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,378,791			
1 経常収益	7,191,089			
(1) 医業収益	6,494,948			
(うち修正医業収益)	6,398,005			
入院収益	4,386,317			
外来収益	1,825,919			
診療収入計	6,212,236			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	282,712			
(うち他会計負担金)	96,943			
(2) 医業外収益	696,141			
(うち国・都道府県補助金)	7,126			
(うち他会計補助・負担金)	319,884			
(うち長期前受金戻入)	144,007			
(うち資本費繰入収益)	156,599			
(3) 特別利益	187,702			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,341,694			
2 経常費用	8,340,366			
(1) 医業費用	7,920,087			
職員給与費	4,351,534	67.0	60.8	61.3
材料費	1,434,807	22.1	27.1	26.2
(うち薬品費)	718,178	11.1	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	716,629	11.0	11.8	11.2
減価償却費	469,275	7.2	8.6	8.5
経費	1,642,505	25.3	22.0	21.8
(うち委託料)	777,170	12.0	11.8	11.9
研究研修費	14,885			
資産減耗費	7,081			
(2) 医業外費用	420,279			
(うち支払利息)	100,508	1.5	0.9	0.9
(3) 特別損失	1,328			
経常損益	-1,149,277			
純損益	-962,903			
累積欠損金	3,606,447			
経常収支比率	86.2		93.0	92.2
医業収支比率	82.0		83.9	84.6
修正医業収支比率	80.8		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	5.6		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	81.2		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,923,020
1 固定資産	6,484,307
(1) 有形固定資産	6,438,414
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	45,893
2 流動資産	1,438,713
(1) 現金及び預金	330,074
(2) 未収金及び未収収益	1,071,394
(3) 貸倒引当金()	816
(4) 貯蔵品	38,061
3 繰延資産	-
負債合計	7,814,417
1 固定負債	6,168,113
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,207,839
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	960,274
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,550,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	881,140
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	250,426
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	385,589
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	95,860
(1) 長期前受金	2,559,853
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,463,993
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	108,603
1 本金	3,077,517
2 剰余金	-2,968,914
(1) 資本剰余金	637,033
(2) 利益剰余金	-3,605,947
負債・資本合計	7,923,020
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	866,202	416,827
資本勘定繰入	489,598	486,619
計	1,355,800	903,446

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	有田市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,675 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救 感 災 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	153	46.1	53.6	47.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	158.5
計	157	44.9	52.3	50.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	14.1	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	26,538	
決算規模(千円)	19,676,127	
標準財政規模(千円)	7,634,030	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	102.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	368,097			
1 経常収益	368,097			
(1) 医業収益	115,863			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	115,863			
(うち他会計負担金)	115,863			
(2) 医業外収益	252,234			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	213,618			
(うち長期前受金戻入)	10,848			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	523,085			
2 経常費用	523,085			
(1) 医業費用	512,837			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	140,730	121.5	8.6	10.8
経費	372,107	321.2	22.0	29.9
(うち委託料)	5,065	4.4	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,248			
(うち支払利息)	2,041	1.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-154,988			
純損失	-154,988			
累積欠損金	214,665			
経常収支比率	70.4		93.0	91.6
医業収支比率	22.6		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	89.5		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	284.4		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	89.5		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	7.4		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	3,222,309
1 固定資産	2,922,405
(1) 有形固定資産	2,907,615
(2) 無形固定資産	302
(3) 投資その他の資産	14,488
2 流動資産	299,904
(1) 現金及び預金	256,369
(2) 未収金及び未収収益	40,246
(3) 貸倒引当金()	10,149
(4) 貯蔵品	13,325
3 繰延資産	-
負債合計	1,600,872
1 固定負債	1,260,777
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,000,777
(2) その他の企業債	260,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	205,149
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,372
(2) その他の企業債	130,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,777
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	134,946
(1) 長期前受金	365,434
(2) 長期前受金収益化累計額()	230,488
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,621,437
1 資本金	1,836,102
2 剰余金	-214,665
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-214,665
負債・資本合計	3,222,309
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,109	329,481
資本勘定繰入	33,347	219,341
計	283,456	548,822

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	185.3
健全化法上の資金不足額(千円)	85,718
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	126,873
地財法上の資金不足比率(%)	109.5

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	新宮市		
病院名	新宮市立医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	21,878 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感災地
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	281	62.5	63.7	61.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	13.4
計	285	61.7	62.8	60.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	14.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	27,171	
決算規模(千円)	19,706,458	
標準財政規模(千円)	10,087,287	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,976,680			
1 経常収益	6,944,815			
(1) 医業収益	6,144,108			
(うち修正医業収益)	5,993,814			
入院収益	4,134,135			
外来収益	1,710,967			
診療収入計	5,845,102			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	299,006			
(うち他会計負担金)	150,294			
(2) 医業外収益	800,707			
(うち国・都道府県補助金)	12,631			
(うち他会計補助・負担金)	345,803			
(うち長期前受金戻入)	327,482			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	31,865			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,572,827			
2 経常費用	7,523,705			
(1) 医業費用	7,159,640			
職員給与費	3,387,033	55.1	60.8	66.2
材料費	1,689,410	27.5	27.1	21.2
(うち薬品費)	599,552	9.8	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,089,080	17.7	11.8	10.1
減価償却費	582,412	9.5	8.6	9.5
経費	1,466,531	23.9	22.0	28.6
(うち委託料)	747,463	12.2	11.8	14.4
研究研修費	25,722			
資産減耗費	8,532			
(2) 医業外費用	364,065			
(うち支払利息)	54,354	0.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	49,122			
経常損益	-578,890			
純損益	-596,147			
累積欠損金	254,989			
経常収支比率	92.3		93.0	89.9
医業収支比率	85.8		83.9	79.3
修正医業収支比率	83.7		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	85.7		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,886,893
1 固定資産	7,467,423
(1) 有形固定資産	7,444,603
(2) 無形固定資産	620
(3) 投資その他の資産	22,200
2 流動資産	2,419,470
(1) 現金及び預金	884,294
(2) 未収金及び未収収益	1,467,082
(3) 貸倒引当金()	7,713
(4) 貯蔵品	60,728
3 繰延資産	-
負債合計	7,099,811
1 固定負債	4,053,225
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,077,790
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	975,435
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,652,548
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	943,424
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	186,226
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	492,993
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,394,038
(1) 長期前受金	6,917,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,523,895
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,787,082
1 資本金	1,967,794
2 剰余金	819,288
(1) 資本剰余金	996,648
(2) 利益剰余金	-177,360
負債・資本合計	9,886,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	882,608	496,097
資本勘定繰入	539,581	535,353
計	1,422,189	1,031,450

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	高野町		
病院名	高野山病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,970
決算規模(千円)	5,962,734
標準財政規模(千円)	2,353,046
財政力指数	0.19
経常収支比率(%)	91.1
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	115			
1 経常収益	115			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	115			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	115			
2 経常費用	115			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	115			
(うち支払利息)	115	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	3,577			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	すさみ町				
病院名	国保すさみ病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,834 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	25	27.9	22.2	19.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	27.9	22.2	19.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	22.6	26.3

設立団体の状況		
人口(人)	3,685	
決算規模(千円)	4,722,736	
標準財政規模(千円)	2,748,466	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	559,019			
1 経常収益	559,019			
(1) 医業収益	342,066			
(うち修正医業収益)	302,378			
入院収益	69,525			
外来収益	207,971			
診療収入計	277,496			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	64,570			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	216,953			
(うち国・都道府県補助金)	1,132			
(うち他会計補助・負担金)	195,612			
(うち長期前受金戻入)	16,197			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	706,850			
2 経常費用	706,850			
(1) 医業費用	679,877			
職員給与費	409,385	119.7	60.8	92.5
材料費	115,980	33.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	91,908	26.9	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,008	6.1	11.8	5.8
減価償却費	72,545	21.2	8.6	13.4
経費	80,792	23.6	22.0	47.6
(うち委託料)	29,823	8.7	11.8	23.6
研究研修費	1,175			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,973			
(うち支払利息)	8,860	2.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-147,831			
純損益	-147,831			
累積欠損金	955,620			
経常収支比率	79.1		93.0	95.6
医業収支比率	50.3		83.9	59.3
修正医業収支比率	44.5		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	42.1		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	68.8		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	42.1		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	45.8		81.6	60.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,738,115
1 固定資産	1,652,628
(1) 有形固定資産	1,651,993
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	85,487
(1) 現金及び預金	31,515
(2) 未収金及び未収収益	47,853
(3) 貸倒引当金()	775
(4) 貯蔵品	6,894
3 繰延資産	-
負債合計	2,160,149
1 固定負債	1,765,863
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,384,948
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	380,915
(6) リース債務	-
2 流動負債	101,260
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,017
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,054
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	30,000
(8) 未払金及び未払費用	29,189
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	293,026
(1) 長期前受金	508,116
(2) 長期前受金収益化累計額()	215,090
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-422,034
1 本金	404,654
2 剰余金	-826,688
(1) 資本剰余金	118,932
(2) 利益剰余金	-945,620
負債・資本合計	1,738,115
不良債務	1,756
実質資金不足額	1,756
資本不足額()	422,034
資本不足額(繰延収益控除後)()	129,008
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	435,303	235,300
資本勘定繰入	6,678	14,700
計	441,981	250,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	1,756	0.5
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	279.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,756
健全化法上の資金不足比率(%)	0.5
地財法上の資金不足額(千円)	1,756
地財法上の資金不足比率(%)	0.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	那智勝浦町				
病院名	温泉病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,261 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	120	84.6	85.8	81.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	84.6	85.8	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	19.6	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	14,137	
決算規模(千円)	11,156,319	
標準財政規模(千円)	5,672,227	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	13.3

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	2,222,845				
1 経常収益	2,215,792				
(1) 医業収益	1,839,555				
(うち修正医業収益)	1,794,882				
入院収益	1,270,782				
外来収益	475,239				
診療収入計	1,746,021				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	93,534				
(うち他会計負担金)	44,673				
(2) 医業外収益	376,237				
(うち国・都道府県補助金)	384				
(うち他会計補助・負担金)	199,239				
(うち長期前受金戻入)	131,566				
(うち資本費繰入収益)	19,378				
(3) 特別利益	7,053				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,456,581				
2 経常費用	2,444,983				
(1) 医業費用	2,282,173				
職員給与費	1,303,033	70.8	60.8	69.3	
材料費	288,905	15.7	27.1	18.4	
(うち薬品費)	129,577	7.0	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	127,983	7.0	11.8	9.1	
減価償却費	225,901	12.3	8.6	10.8	
経費	458,306	24.9	22.0	29.9	
(うち委託料)	246,022	13.4	11.8	13.7	
研究研修費	5,087				
資産減耗費	941				
(2) 医業外費用	162,810				
(うち支払利息)	12,881	0.7	0.9	1.0	
(3) 特別損失	11,598				
経常損益	-229,191				
純損益	-233,736				
累積欠損金	722,937				
経常収支比率	90.6		93.0	91.6	
医業収支比率	80.6		83.9	77.4	
修正医業収支比率	78.6		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	80.7		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,728,413
1 固定資産	3,985,674
(1) 有形固定資産	3,983,592
(2) 無形固定資産	1,682
(3) 投資その他の資産	400
2 流動資産	742,739
(1) 現金及び預金	477,302
(2) 未収金及び未収収益	254,214
(3) 貸倒引当金()	4,180
(4) 貯蔵品	13,914
3 繰延資産	-
負債合計	4,947,495
1 固定負債	3,237,446
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,826,372
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	411,054
(6) リース債務	20
2 流動負債	410,394
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	220,182
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	82,358
(6) リース債務	635
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	106,413
(9) 前受金及び前受収益	806
3 繰延収益	1,299,655
(1) 長期前受金	2,234,257
(2) 長期前受金収益化累計額()	934,602
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-219,082
1 本金	344,122
2 剰余金	-563,204
(1) 資本剰余金	159,733
(2) 利益剰余金	-722,937
負債・資本合計	4,728,413
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	219,082
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	222,774	243,912
資本勘定繰入	56,052	119,148
計	278,826	363,060

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	串本町		
病院名	くしもと町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,917 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	90	64.5	64.0	62.8
療養	20	73.8	99.0	72.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	67.0	70.9	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	17.4	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	14,959	
決算規模(千円)	11,456,150	
標準財政規模(千円)	6,349,959	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	33.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,215,022			
1 経常収益	2,215,022			
(1) 医業収益	1,596,393			
(うち修正医業収益)	1,556,705			
入院収益	955,313			
外来収益	529,722			
診療収入計	1,485,035			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	111,358			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	618,629			
(うち国・都道府県補助金)	720			
(うち他会計補助・負担金)	535,481			
(うち長期前受金戻入)	69,453			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,231,814			
2 経常費用	2,231,814			
(1) 医業費用	2,133,341			
職員給与費	1,138,200	71.3	60.8	69.3
材料費	317,839	19.9	27.1	18.4
(うち薬品費)	120,204	7.5	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	168,238	10.5	11.8	9.1
減価償却費	153,939	9.6	8.6	10.8
経費	517,464	32.4	22.0	29.9
(うち委託料)	269,242	16.9	11.8	13.7
研究研修費	2,869			
資産減耗費	3,030			
(2) 医業外費用	98,473			
(うち支払利息)	14,868	0.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-16,792			
純損失	-16,792			
累積欠損金	183,296			
経常収支比率	99.2		93.0	91.6
医業収支比率	74.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	73.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.0		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	36.0		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	26.0		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	73.5		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,215,836
1 固定資産	2,765,673
(1) 有形固定資産	2,757,278
(2) 無形固定資産	1,795
(3) 投資その他の資産	6,600
2 流動資産	450,163
(1) 現金及び預金	162,306
(2) 未収金及び未収収益	304,599
(3) 貸倒引当金()	44,249
(4) 貯蔵品	27,507
3 繰延資産	-
負債合計	2,548,493
1 固定負債	1,364,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,148,723
(2) その他の企業債	159,232
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,229
(6) リース債務	-
2 流動負債	332,811
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	137,268
(2) その他の企業債	19,895
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,021
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	91,233
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	851,498
(1) 長期前受金	1,713,909
(2) 長期前受金収益化累計額()	862,411
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	667,343
1 本金	667,937
2 剰余金	-594
(1) 資本剰余金	182,502
(2) 利益剰余金	-183,096
負債・資本合計	3,215,836
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	271,273	575,169
資本勘定繰入	59,784	83,738
計	331,057	658,907

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	国民健康保険野上厚生病院組合				
病院名	国保野上厚生総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,938 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	90.9	90.1	76.1
療養	-	-	-	43.6
結核	-	-	-	-
精神	100	87.2	85.8	86.6
感染症	-	-	-	-
計	199	89.0	87.9	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		30.9	25.0	18.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,391,303			
1 経常収益	3,391,303			
(1) 医業収益	2,565,238			
(うち修正医業収益)	2,425,350			
入院収益	1,800,000			
外来収益	521,502			
診療収入計	2,321,502			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	243,736			
(うち他会計負担金)	139,888			
(2) 医業外収益	826,065			
(うち国・都道府県補助金)	1,140			
(うち他会計補助・負担金)	653,049			
(うち長期前受金戻入)	40,221			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,294,109			
2 経常費用	3,294,109			
(1) 医業費用	2,922,236			
職員給与費	1,760,345	68.6	60.8	69.3
材料費	248,015	9.7	27.1	18.4
(うち薬品費)	151,197	5.9	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	92,252	3.6	11.8	9.1
減価償却費	241,825	9.4	8.6	10.8
経費	663,945	25.9	22.0	29.9
(うち委託料)	364,686	14.2	11.8	13.7
研究研修費	4,462			
資産減耗費	3,644			
(2) 医業外費用	371,873			
(うち支払利息)	39,117	1.5	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	97,194			
純損益	97,194			
累積欠損金	1,967,415			
経常収支比率	103.0		93.0	91.6
医業収支比率	87.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	83.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.4		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	30.9		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	23.4		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	78.9		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,124,350
1 固定資産	4,018,258
(1) 有形固定資産	3,916,048
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	102,064
2 流動資産	1,106,092
(1) 現金及び預金	653,361
(2) 未収金及び未収収益	435,945
(3) 貸倒引当金()	318
(4) 貯蔵品	12,782
3 繰延資産	-
負債合計	3,436,727
1 固定負債	2,348,770
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,134,231
(2) その他の企業債	118,898
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	95,641
(6) リース債務	-
2 流動負債	744,532
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	360,632
(2) その他の企業債	12,450
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,251
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	213,201
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	343,425
(1) 長期前受金	688,359
(2) 長期前受金収益化累計額()	344,934
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,687,623
1 資本金	3,543,535
2 剰余金	-1,855,912
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,855,912
負債・資本合計	5,124,350
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	792,937	792,937
資本勘定繰入	105,405	105,405
計	898,342	898,342

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	公立那賀病院経営事務組合		
病院名	公立那賀病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	22,708 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	300	68.6	70.9	70.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	304	67.7	70.0	69.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	14.6	14.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,294,342			
1 経常収益	7,294,342			
(1) 医業収益	6,548,765			
(うち修正医業収益)	6,395,544			
入院収益	4,040,578			
外来収益	2,201,005			
診療収入計	6,241,583			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	307,182			
(うち他会計負担金)	153,221			
(2) 医業外収益	745,577			
(うち国・都道府県補助金)	12,126			
(うち他会計補助・負担金)	340,866			
(うち長期前受金戻入)	217,577			
(うち資本費繰入収益)	119,772			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,070,578			
2 経常費用	8,070,578			
(1) 医業費用	7,661,800			
職員給与費	3,639,962	55.6	60.8	61.3
材料費	1,912,117	29.2	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,158,565	17.7	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	743,867	11.4	11.8	11.2
減価償却費	539,188	8.2	8.6	8.5
経費	1,536,893	23.5	22.0	21.8
(うち委託料)	821,335	12.5	11.8	11.9
研究研修費	19,061			
資産減耗費	14,579			
(2) 医業外費用	408,778			
(うち支払利息)	54,436	0.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-776,236			
純損失	-776,236			
累積欠損金	1,793,687			
経常収支比率	90.4		93.0	92.2
医業収支比率	85.5		83.9	84.6
修正医業収支比率	83.5		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	6.8		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	84.3		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	11,318,662
1 固定資産	7,159,609
(1) 有形固定資産	7,141,249
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	18,360
2 流動資産	4,159,053
(1) 現金及び預金	3,031,801
(2) 未収金及び未収収益	1,011,518
(3) 貸倒引当金()	10,145
(4) 貯蔵品	125,879
3 繰延資産	-
負債合計	5,572,663
1 固定負債	2,309,580
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,309,580
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,489,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	831,297
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	216,441
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	427,834
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,773,873
(1) 長期前受金	4,250,548
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,476,675
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,745,999
1 資本金	7,239,169
2 剰余金	-1,493,170
(1) 資本剰余金	300,517
(2) 利益剰余金	-1,793,687
負債・資本合計	11,318,662
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	836,737	494,087
資本勘定繰入	525,711	520,532
計	1,362,448	1,014,619

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	御坊市外五ヶ町病院経営事務組合				
病院名	ひだか病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,072 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	263	72.5	68.0	75.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	38.9	46.8	52.5
感染症	4	-	11.5	83.8
計	367	62.5	61.6	69.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	15.1	15.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,126,656			
1 経常収益	6,126,513			
(1) 医業収益	5,216,151			
(うち修正医業収益)	5,147,657			
入院収益	3,504,050			
外来収益	1,461,585			
診療収入計	4,965,635			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	250,516			
(うち他会計負担金)	68,494			
(2) 医業外収益	910,362			
(うち国・都道府県補助金)	16,878			
(うち他会計補助・負担金)	677,067			
(うち長期前受金戻入)	122,792			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	143			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,270,244			
2 経常費用	7,264,844			
(1) 医業費用	6,829,751			
職員給与費	3,794,378	72.7	60.8	61.3
材料費	1,271,885	24.4	27.1	26.2
(うち薬品費)	615,693	11.8	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	588,209	11.3	11.8	11.2
減価償却費	547,794	10.5	8.6	8.5
経費	1,193,448	22.9	22.0	21.8
(うち委託料)	437,388	8.4	11.8	11.9
研究研修費	9,815			
資産減耗費	12,431			
(2) 医業外費用	435,093			
(うち支払利息)	47,169	0.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	5,400			
経常損益	-1,138,331			
純損益	-1,143,588			
累積欠損金	6,421,134			
経常収支比率	84.3		93.0	92.2
医業収支比率	76.4		83.9	84.6
修正医業収支比率	75.4		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	74.1		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,427,673
1 固定資産	6,674,803
(1) 有形固定資産	6,462,923
(2) 無形固定資産	477
(3) 投資その他の資産	211,403
2 流動資産	1,752,870
(1) 現金及び預金	855,822
(2) 未収金及び未収収益	844,165
(3) 貸倒引当金()	1,450
(4) 貯蔵品	54,033
3 繰延資産	-
負債合計	6,199,089
1 固定負債	3,455,600
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,455,600
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,337,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	548,069
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	302,981
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	458,049
(9) 前受金及び前受収益	12,100
3 繰延収益	1,406,089
(1) 長期前受金	2,893,602
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,487,513
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,228,584
1 資本金	7,765,453
2 剰余金	-5,536,869
(1) 資本剰余金	884,265
(2) 利益剰余金	-6,421,134
負債・資本合計	8,427,673
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	736,311	745,561
資本勘定繰入	285,314	357,910
計	1,021,625	1,103,471

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	123.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	公立紀南病院組合				
病院名	紀南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	41,959 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	352	73.1	72.5	74.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	1.7	8.4	54.0
計	356	72.3	71.8	74.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.6	11.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,543,333			
1 経常収益	11,543,333			
(1) 医業収益	10,631,746			
(うち修正医業収益)	10,566,464			
入院収益	6,480,248			
外来収益	3,695,379			
診療収入計	10,175,627			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	456,119			
(うち他会計負担金)	65,282			
(2) 医業外収益	911,587			
(うち国・都道府県補助金)	81,641			
(うち他会計補助・負担金)	425,259			
(うち長期前受金戻入)	267,374			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,031,054			
2 経常費用	12,031,054			
(1) 医業費用	11,300,959			
職員給与費	5,456,640	51.3	60.8	61.3
材料費	3,674,783	34.6	27.1	26.2
(うち薬品費)	2,103,942	19.8	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,569,631	14.8	11.8	11.2
減価償却費	485,251	4.6	8.6	8.5
経費	1,588,341	14.9	22.0	21.8
(うち委託料)	912,430	8.6	11.8	11.9
研究研修費	90,211			
資産減耗費	5,733			
(2) 医業外費用	730,095			
(うち支払利息)	40,803	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-487,721			
純損益	-487,721			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.9		93.0	92.2
医業収支比率	94.1		83.9	84.6
修正医業収支比率	93.5		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	4.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	91.9		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	15,524,290
1 固定資産	10,031,501
(1) 有形固定資産	9,852,392
(2) 無形固定資産	6,375
(3) 投資その他の資産	172,734
2 流動資産	5,492,789
(1) 現金及び預金	3,523,810
(2) 未収金及び未収収益	1,853,887
(3) 貸倒引当金()	7,920
(4) 貯蔵品	123,012
3 繰延資産	-
負債合計	7,558,966
1 固定負債	3,490,538
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,448,538
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,000
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,296,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	776,381
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	360,789
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,111,728
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,771,969
(1) 長期前受金	6,903,463
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,131,494
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,965,324
1 本金	3,412,069
2 剰余金	4,553,255
(1) 資本剰余金	377,170
(2) 利益剰余金	4,176,085
負債・資本合計	15,524,290
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	454,117	490,541
資本勘定繰入	430,661	500,266
計	884,778	990,807

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	公立紀南病院組合		
病院名	紀南こころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,421 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	198	48.6	46.8	46.8
感染症	-	-	-	-
計	198	48.6	46.8	46.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,502,370			
1 経常収益	1,502,370			
(1) 医業収益	1,063,642			
(うち修正医業収益)	1,063,642			
入院収益	553,995			
外来収益	500,356			
診療収入計	1,054,351			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	9,291			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	438,728			
(うち国・都道府県補助金)	962			
(うち他会計補助・負担金)	384,949			
(うち長期前受金戻入)	41,701			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,495,475			
2 経常費用	1,495,475			
(1) 医業費用	1,447,775			
職員給与費	869,265	81.7	60.8	69.3
材料費	290,423	27.3	27.1	18.4
(うち薬品費)	280,591	26.4	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,523	0.9	11.8	9.1
減価償却費	50,017	4.7	8.6	10.8
経費	235,255	22.1	22.0	29.9
(うち委託料)	108,060	10.2	11.8	13.7
研究研修費	2,787			
資産減耗費	28			
(2) 医業外費用	47,700			
(うち支払利息)	40	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	6,895			
純損益	6,895			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.5		93.0	91.6
医業収支比率	73.5		83.9	77.4
修正医業収支比率	73.5		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.6		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	36.2		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	25.6		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	74.7		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	15,524,290
1 固定資産	10,031,501
(1) 有形固定資産	9,852,392
(2) 無形固定資産	6,375
(3) 投資その他の資産	172,734
2 流動資産	5,492,789
(1) 現金及び預金	3,523,810
(2) 未収金及び未収収益	1,853,887
(3) 貸倒引当金()	7,920
(4) 貯蔵品	123,012
3 繰延資産	-
負債合計	7,558,966
1 固定負債	3,490,538
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,448,538
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,000
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,296,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	776,381
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	360,789
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,111,728
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,771,969
(1) 長期前受金	6,903,463
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,131,494
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,965,324
1 資本金	3,412,069
2 剰余金	4,553,255
(1) 資本剰余金	377,170
(2) 利益剰余金	4,176,085
負債・資本合計	15,524,290
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	384,949	384,949
資本勘定繰入	11,731	11,731
計	396,680	396,680

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。